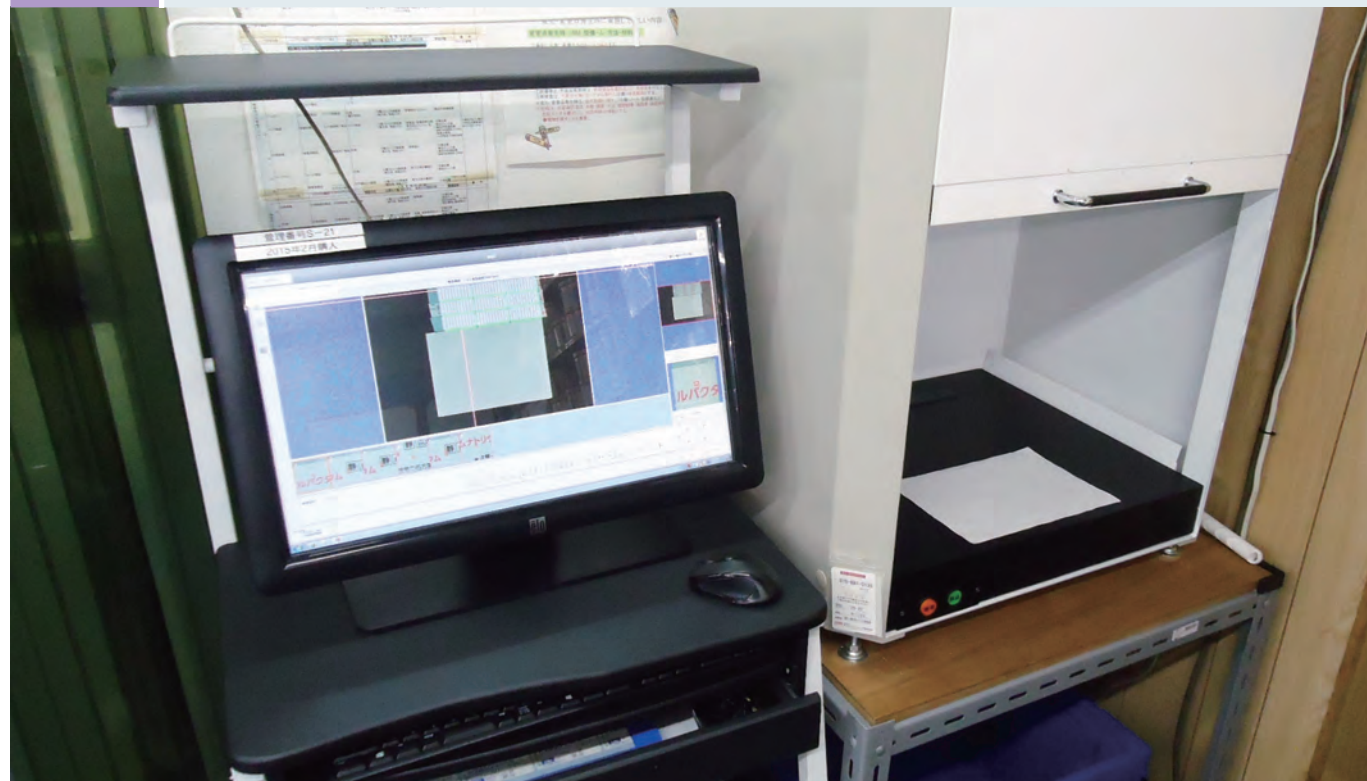




刷り出し・抜き取り用検査装置

高品質製品を安定して供給できる 万全の検査体制

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

点字も読み取り可能な検査装置を導入し 検査体制のさらなる強化

■ 事業概要

欧州連合（E U）では平成22年に市販医薬品容器への点字表示が義務化され、視覚障害者の生活向上を目的に商品への点字表示の動きが高まっている。国内向けに販売する医薬品に貼る点字シールの注文が増えており、潮流に対応すべく点字シールの製造を開始。一方で、点字シールは透明なため既存検査機では読み込めず外注で対応していたので、外注コストや納期の遅れなどが発生していた。この課題解決のため点字も検査可能な装置を導入し内製化。製造から検査まで一貫した生産工程を確立した。



横軸型ラベル検査装置

課題

- 透明な点字シールは既存の検査機では読み込めず外注していたが、外注コストや納期の遅れなどが発生していた。

取組

- 刷出し抜き取り用検査装置と横軸型ラベル検査装置を導入した。

成果

- これまで1分あたり5メートルの検査速度だったが、新たな検査装置導入により1分あたり200メートル検査でき、不良品率の低減や生産性向上につながった。

業務内容

医薬品などの高品質なラベルやシールを手がける

昭和27年に正豊特殊印刷所として創業。箔と呼ばれる金属などを塗布したフィルムを印刷物に熱転写するホットスタンプ加工などから事業を始めた。昭和39年からシール印刷を開始し、現在は医薬品や化粧品などに貼り付ける各種ラベル、シャンプーなどの日用品に貼り付けるアイキャッチシールなどを手がけている。医薬品・化粧品関連が7割、食品関連が2割、工業用途などが1割という製品比率だ。

同社は他社との差別化を図るため、医薬品関連のラベルに特化した事業展開をしている。正田純土社長は「薬関係は表示に間違いがあると命に関わるトラブルになりかねないので、他社はやりたがらない」と説明する。厳しい品質管理が求められる同分野において、検査に時間をかけて不良品を出さない徹底した管理体制を構築している。

品質の厳しい医薬品関連を徹底した検査体制で提供

昭和63年にロールラベルチェッカーと呼ばれるカメラ検査機を、同業他社に先駆けて導入した。平成21年には品質管理の国際規格「ISO 9001」認証を取得。正田社長は「ISOの取得は、当時のシール業界では珍しかった」と振り返る。検査機に関しては、カメラ自動検査機3台、卓上型目視検査装置3台、データの文字化けや版の細かいキズなどを未然に防ぐ画像検査装置を保有し、トレーサビリティ体制も確立している。



主力の医薬品ラベル

強みとビジョン

新たな検査機の導入で生産性が大幅に向上

補助事業では「刷り出し・抜き取り用検査機」と「横軸型ラベル検査装置」を導入。刷り出し・抜き取り用検査機では、画像データや版下データを読み込んだ後、出来上がったシールを同検査機のカメラ下に置くことで自動チェックができる。作業時間は2分程度で、作業員も1人で対応可能だ。横軸型ラベル検査装置では、生産の最終チェックとして全製品の検査を行う。従来の目視検査では1分あたり5mが限度だったが、同装置は1分あたり200mの検査が可能。不良品の見逃しや生産性が大幅に改善され、1ロールごとに検査することも可能となった。



ロータリー印刷機

脱プラ製品や雑貨向けPOPの開発も進める

医薬品や化粧品のラベルに特化して事業展開している同社。近年の脱プラスチックの流れから、原料にセルロースを含む紙製のラベルを使用した製品の展開を始めた。令和2年2月の展示会に出展し、化粧品メーカーなどから好感触を得たという。機械による貼り付け作業が可能な点も訴求する。

現在展開する領域とは全く異なる雑貨向けPOPの開発にも着手している。店頭の飾り付けなど向けにシールを活用したPOPを開発することで、B to C向けの製品拡充も構想する。



一部食品関連のラベルも手がける

「セイホウなら大丈夫」と言われるような丁寧な仕事を



高品質なシールやラベルの安定供給の秘訣として、検査体制の充実に加えて5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）活動にも注力しています。お客さまに「セイホウなら大丈夫」と言ってもらえるよう丁寧に細かい仕事を心がけています。医薬品関連の強化はもちろん、新しい製品開発にも取り組んでいます。



- 社名 株式会社 セイホウ
- 代表者 代表取締役社長 正田 純土
- 住所 〒536-0021 大阪市城東区諏訪3-6-28
- TEL 06-6969-2721
- FAX 06-6969-2723
- 資本金 10,000千円
- 従業員 25名

<<< 代表取締役社長 正田 純土

<http://seihou-seal.com/>

- 主な取引先 製薬関連の印刷会社など
- 主な保有設備 ロータリー印刷機、間欠ロータリー印刷機、ロールラベルチェッカー、刷り出し抜き取り用検査装置など
- 主力製品 医薬品関係のラベル、化粧品のPOP、シャンプーなどの日用品のアイキャッチシールなど



REPORTER'S
EYE

たった一つの表示ミスが人命に関わりかねない中で、作業員が一文字ずつ読み上げて確認する「消し込み」と呼ばれるチェックも行う。検査設備や目視点検など、二重三重の検査の仕組みを構築している。製薬会社の監査が頻繁にあるというが、正田社長は「実際に現場を見てもらえれば、検査体制にご納得いただける」と自信を示す。万全の体制で得た信頼を武器に、今後は環境配慮品などにも対応して時流も捉えていく。